

鋁工業指数参考図表集
(平成30年12月速報)

平成31年1月31日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成30年12月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

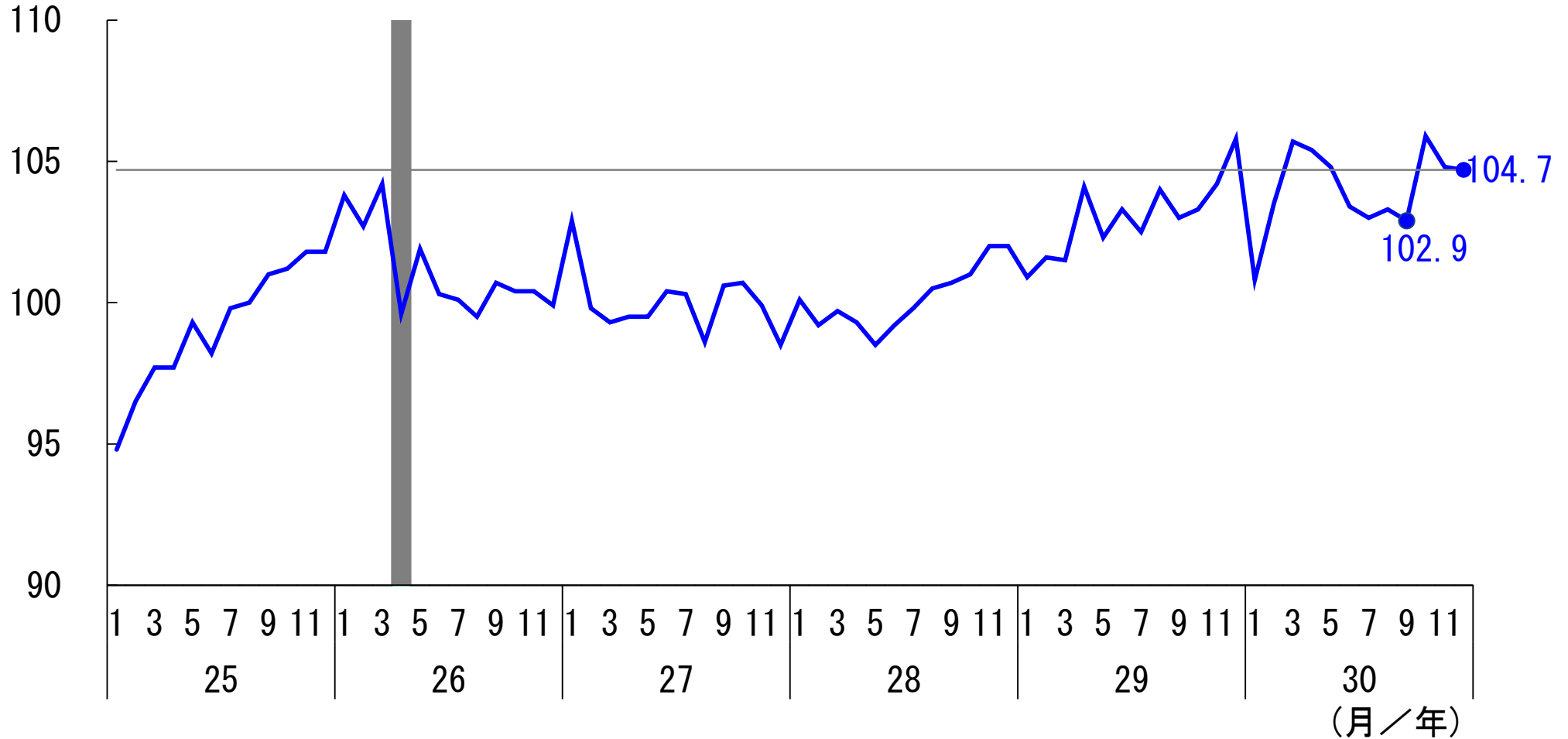
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	104.7	103.6	102.4	104.7
前月比	-0.1%	0.3%	1.0%	2.2%
指数水準	H30.9 102.9以来 ①H25.1 94.8 ②H25.2 96.5 ③H25.3,4 97.7	H30.10 104.6以来 I H26.3 105.7 II H29.12 105.4 III H30.4 105.2	H30.9 102.6以来 I H30.3 104.1 II H30.4,5 103.2 III H30.9 102.6	H30.10 104.7以来 (超)H30.9 105.2以来 I H30.1 109.7 II H30.3 106.1 III H30.7 105.8
前月比の動き	2か月連続－ (H30.11～当月)	2か月ぶり＋ (H30.10以来)	2か月連続＋ (H30.11～当月)	3か月ぶり＋ (H30.9以来)
前月比幅	H30.11 -1.0%以来 ①H30.1 -4.7% ②H26.4 -4.4% ③H27.2 -3.0%	H30.10 3.5%以来 I H30.10 3.5% II H27.1 3.1% III H29.11 3.0%	H30.9 1.2%以来 I H30.3 3.3% II H29.10 2.9% III H26.5 2.4%	H30.9 2.4%以来 I H30.1 8.3% II H26.4 7.4% III H29.10 4.4%
前年同月比(原指数)	-1.9%	-2.8%	1.3%	4.6%
前年同月比の動き	3か月ぶり－ (H30.9以来)	3か月ぶり－ (H30.9以来)	2か月連続＋ (H30.11～当月)	3か月ぶり＋ (H30.9以来)
前年同月比幅	H30.9 -2.5%以来 ①H27.5 -5.1% ②H28.1 -4.2% ③H28.7 -4.0%	H30.9 -2.9%以来 ①H26.11 -5.3% ②H28.1 -4.7% ③H26.8 -4.1%	H30.9 3.5%以来 I H26.11 7.0% II H26.12 5.9% III H26.8 5.5%	H30.9 7.1%以来 I H26.11 13.2% II H27.3 10.4% III H26.8 8.9%

1) I～IIIは27年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- ・平成30年12月の鋳工業生産指数は、104.7(前月比-0.1%)と2か月連続の低下。
- ・平成30年9月の102.9以来の指数水準。

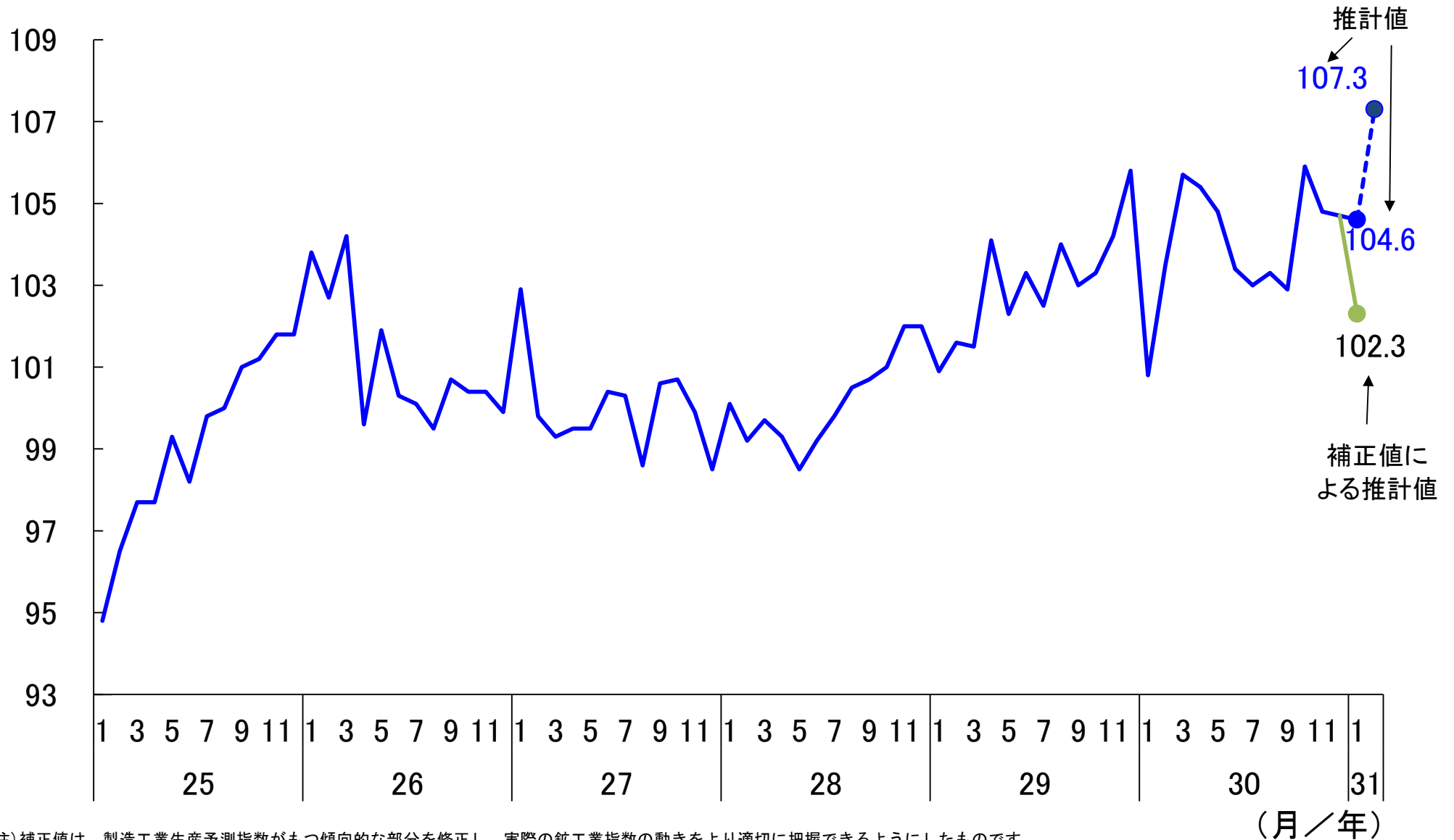
(27年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成27年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(27年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるようにしたものです。

平成30年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	汎用・業務用機械工業	4.5%	342.4%
	品目	ボイラ・原動機	64.4%	507.2%
		汎用機械器具部品	3.1%	58.5%
	2位の業種	自動車工業	1.2%	200.8%
	品目	車体・自動車部品	1.0%	65.1%
		トラック	3.3%	49.3%
	3位の業種	電気・情報通信機械工業	1.2%	100.7%
	品目	電池	17.8%	136.2%
		無線通信機器	22.6%	98.9%
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	-3.0%	-254.9%
	品目	生活関連産業用機械	-25.7%	-207.3%
		半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	-7.7%	-143.6%
	2位の業種	化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）	-4.0%	-185.6%
	品目	化粧品	-4.6%	-128.8%
		洗剤・界面活性剤	-4.2%	-53.0%
	3位の業種	電子部品・デバイス工業	-2.6%	-168.4%
	品目	集積回路	-7.2%	-202.7%
		電子部品	-1.7%	-23.6%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成30年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	64.4%	507.2%
	2位	電池	17.8%	136.2%
	3位	無線通信機器	22.6%	98.9%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	ポンプ・圧縮機器	-11.4%	-210.7%
	2位	生活関連産業用機械	-25.7%	-207.3%
	3位	集積回路	-7.2%	-202.7%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	0.9%	136.9%
		一般用蒸気タービン	12,052.9%	534.8%
		放送装置	147.7%	103.6%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.2%	11.7%
		エレベータ	9.5%	37.3%
		アルミニウム製建具	4.3%	24.1%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-0.7%	-71.6%
		軽乗用車	-6.6%	-45.2%
		二輪自動車（125ml超）	-14.5%	-21.0%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.4%	-197.8%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	-8.9%	-136.4%
		蒸気タービン部品	-53.5%	-93.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.3%	-250.7%
		乳液・化粧水類	-15.1%	-182.0%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	-41.9%	-154.1%

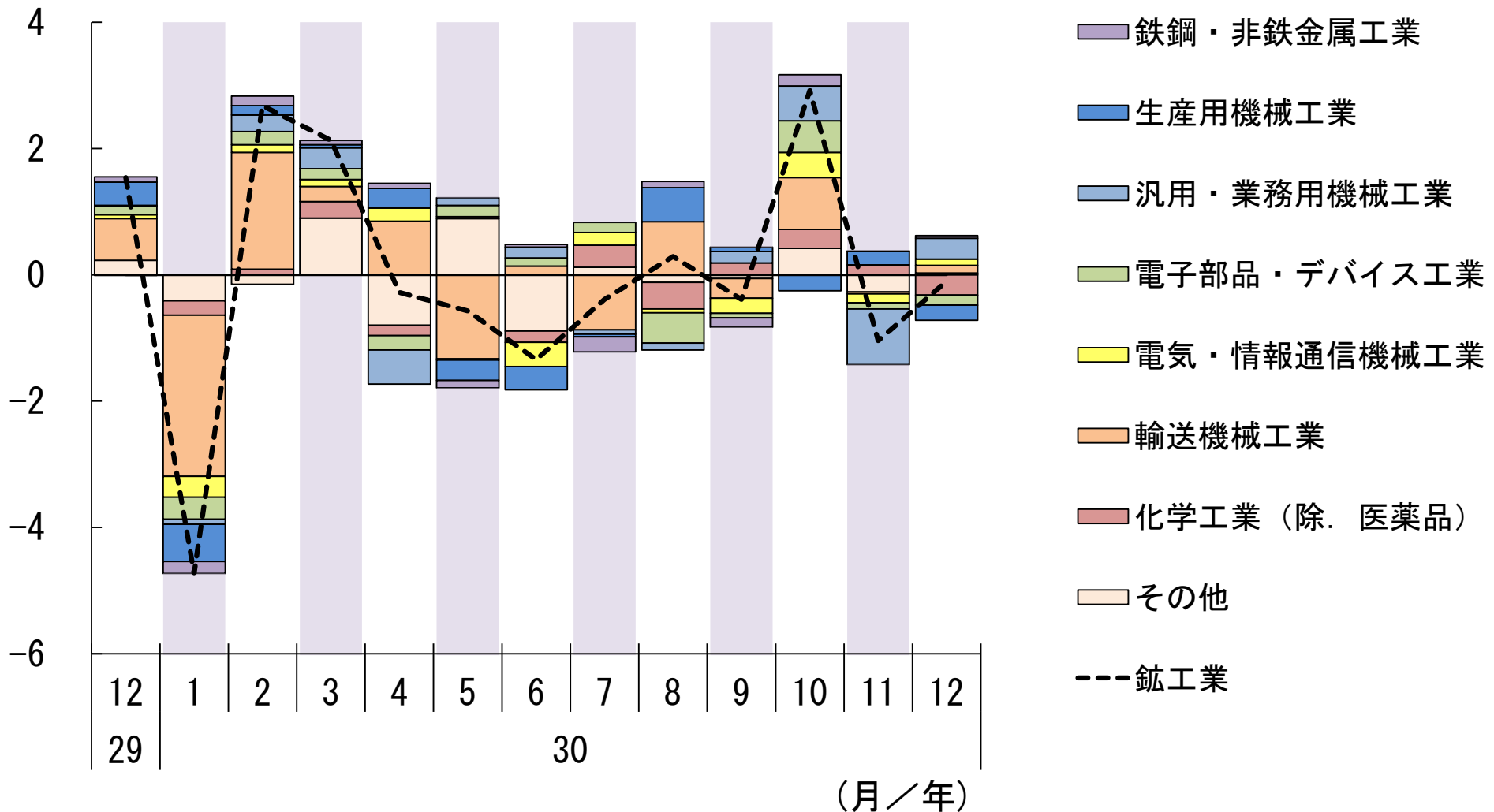
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

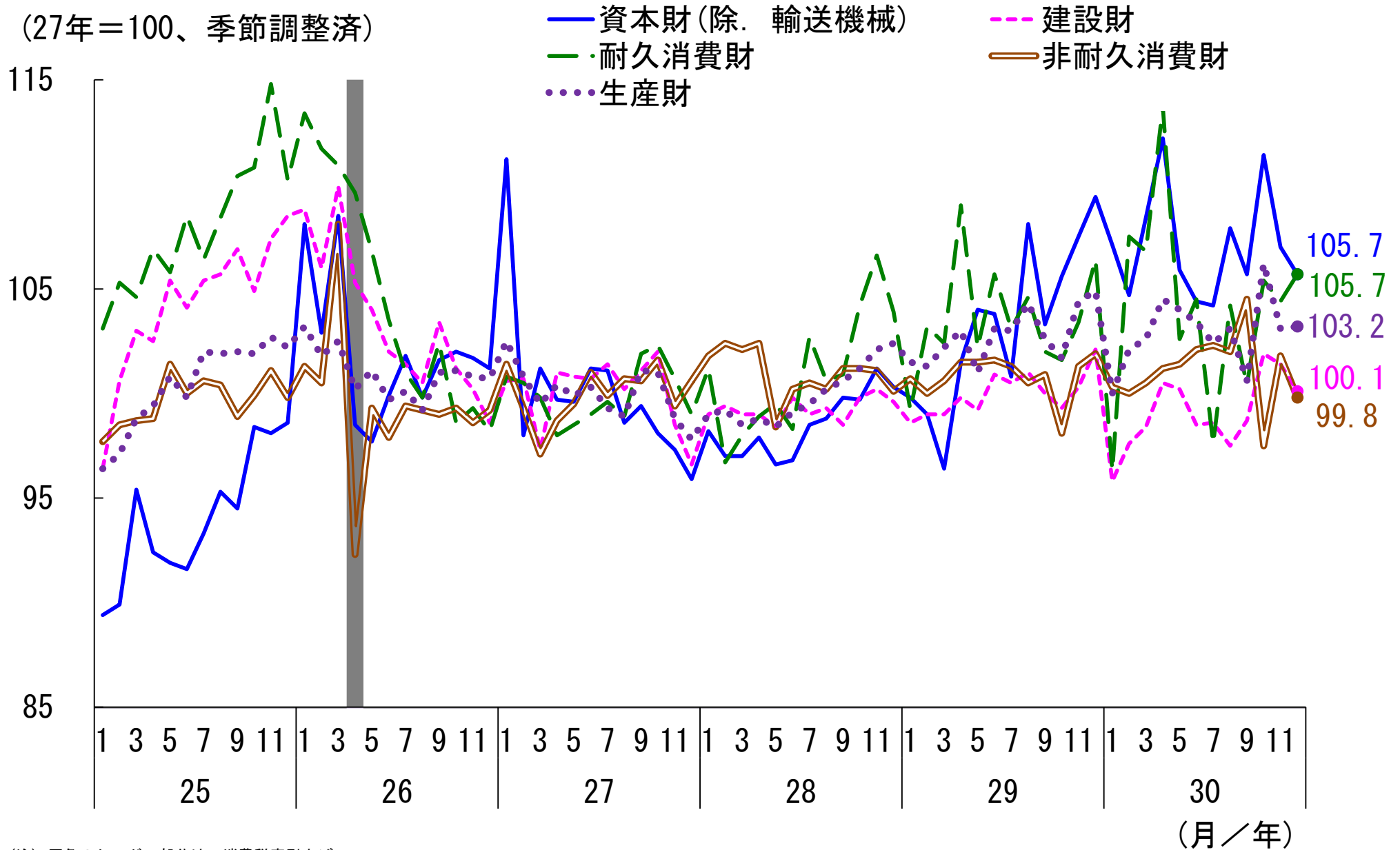
- 平成30年12月の生産指数は、汎用・業務用機械工業などが上昇したものの、化学工業（除. 医薬品）などが低下したため、前月比-0.1%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

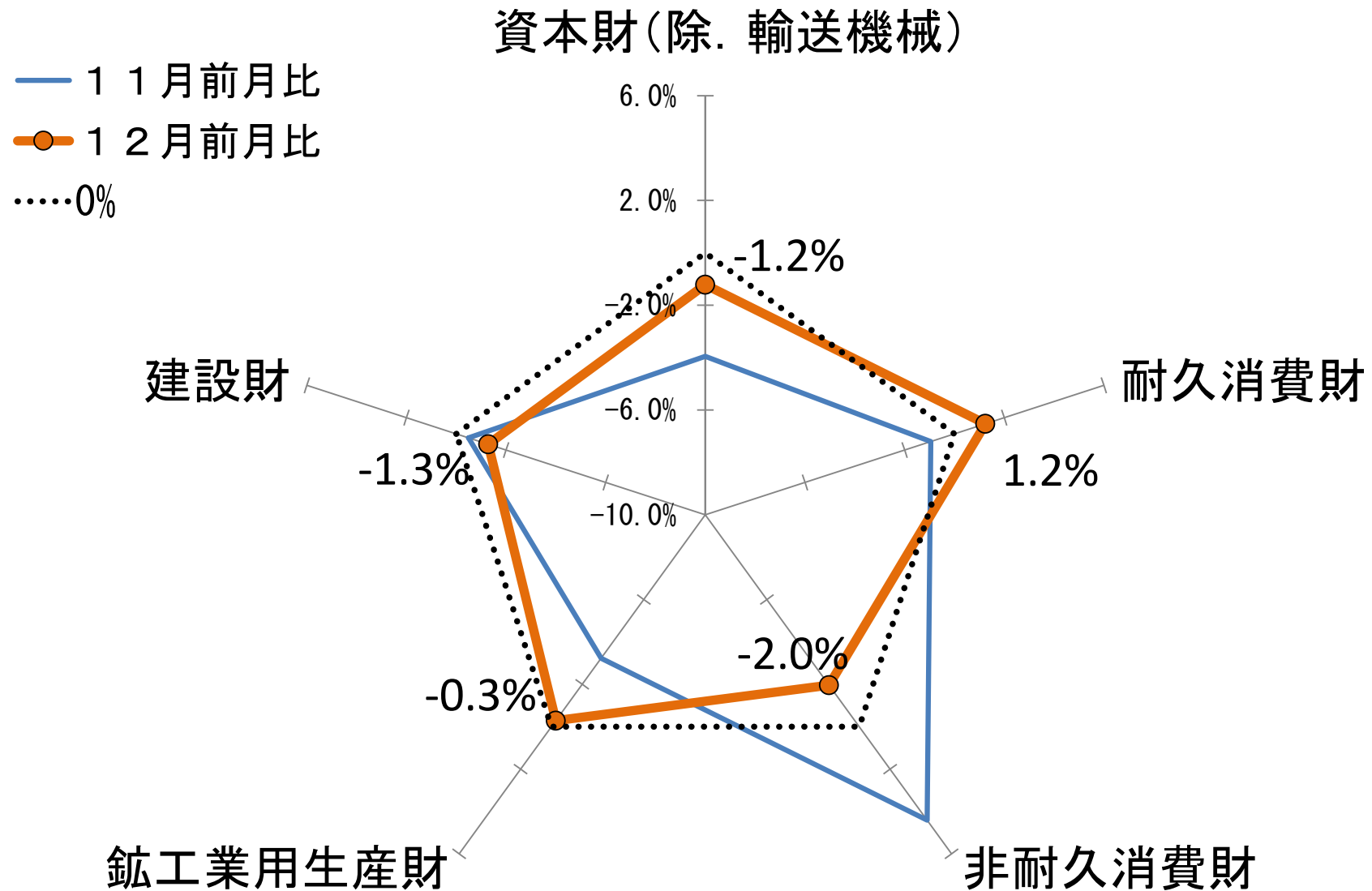


財別出荷指数の動向

(27年=100、季節調整済)



財別出荷指数の前月比比較（平成30年11月、12月）



平成30年12月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

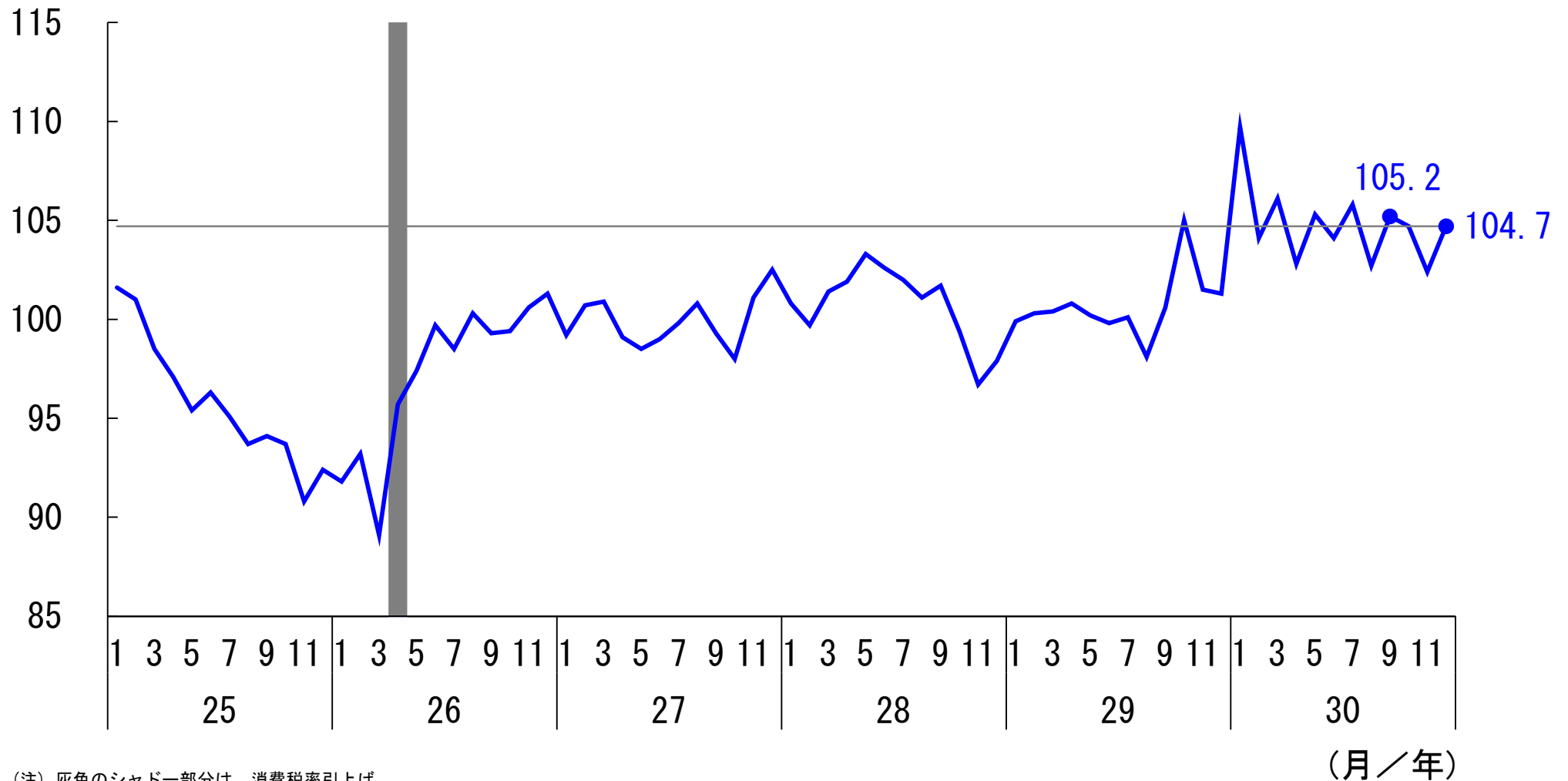
	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.2%	43.6%
		普通乗用車	6.9%	137.2%
		石油ストーブ	88.5%	6.7%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.1%	17.4%
		軽油	16.9%	61.8%
		ボイラ部品	154.2%	33.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.3%	-24.2%
		橋りょう	-30.2%	-23.2%
		電気照明器具（除. 自動車用）	-9.2%	-8.3%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	-1.2%	-50.1%
		印刷機械	-48.7%	-38.3%
		水管ボイラ	-76.8%	-35.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-2.0%	-107.2%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	-35.2%	-22.2%
		乳液・化粧水類	-7.2%	-15.4%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

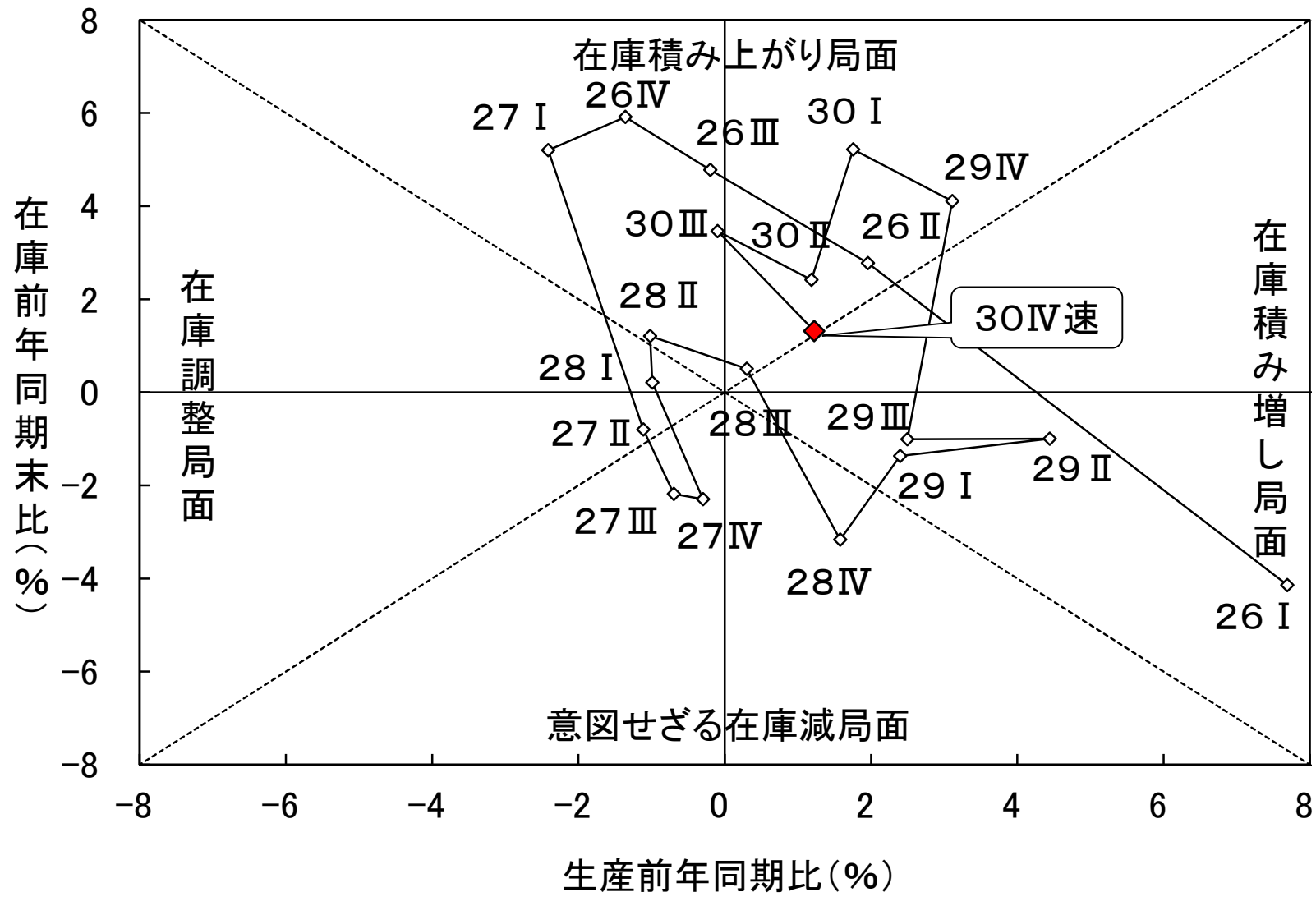
鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成30年12月の在庫率指数は、104.7(前月比2.2%)と3か月ぶりの上昇。
- ・平成30年9月の105.2以来の指数水準。

(27年=100、季節調整済)



鉍工業の在庫循環図



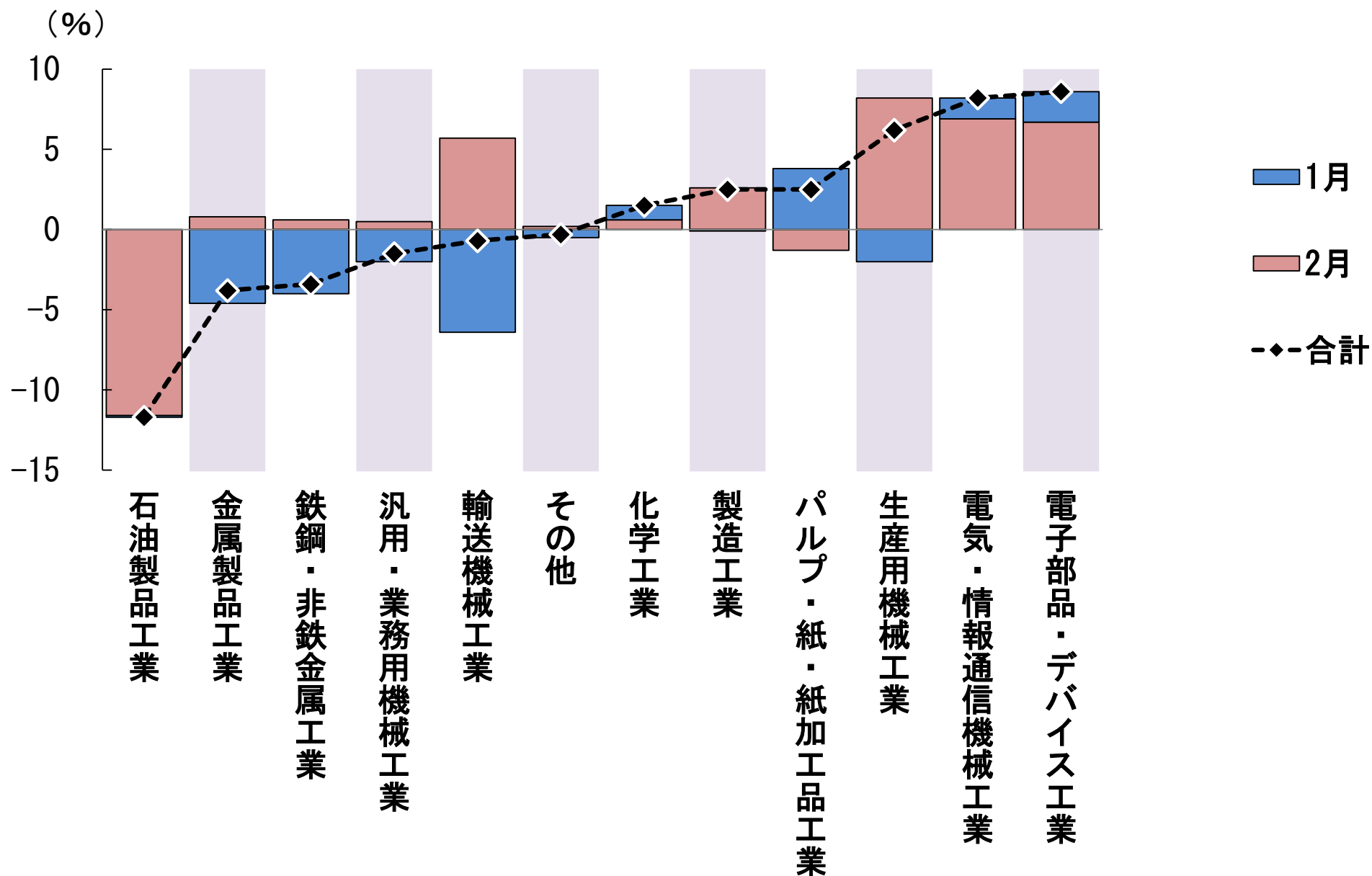
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	平成31年1月見込み	平成31年2月見込み
平成31年1月調査(今回)	-0.1%	2.6%
平成30年12月調査(前回)	-0.8%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
1月前月比	-2.3% (-3.3%～-1.4%)	-0.1%

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成31年1月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
電子部品・デバイス工業	1.9%
電気・情報通信機械工業	1.3%
化学工業	0.9%
パルプ・紙・紙加工品工業	3.8%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-0.1%
その他	-0.5%

低下寄与業種	計画前月比
汎用・業務用機械工業	-2.0%
生産用機械工業	-2.0%
金属製品工業	-4.6%
鉄鋼・非鉄金属工業	-4.0%
輸送機械工業	-6.4%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成31年2月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	5.7%
生産用機械工業	8.2%
電気・情報通信機械工業	6.9%
電子部品・デバイス工業	6.7%
化学工業	0.6%
汎用・業務用機械工業	0.5%
金属製品工業	0.8%

上昇寄与業種	計画前月比
鉄鋼・非鉄金属工業	0.6%
その他	0.2%
低下寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	-1.3%
石油製品工業	-11.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成30年10～12月期(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

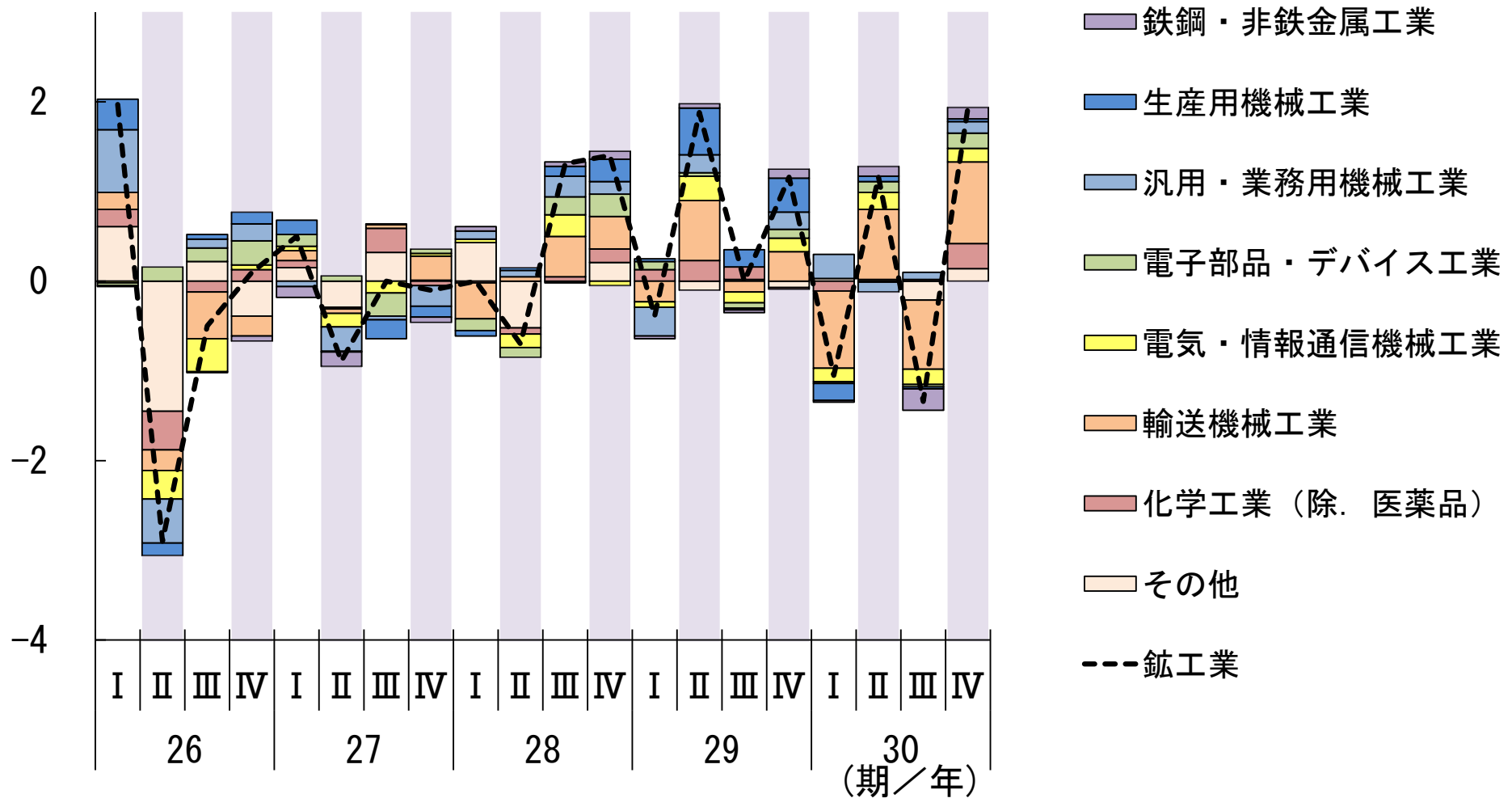
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	105.1	103.8	102.4	103.9
前期比	1.9%	1.9%	-0.2%	-0.7%
指数水準	27年基準最高水準 I H30Ⅳ 105.1 II H30Ⅱ 104.5 ⅢH29Ⅳ 104.4	H30Ⅱ 103.9以来 I H26Ⅰ 104.5 II H30Ⅱ 103.9 ⅢH30Ⅳ 103.8	H30Ⅱ 101.4以来 ①H26Ⅰ 95.3 ②H25Ⅳ 96.9 ③H25Ⅱ, H28Ⅳ 97.0	H29Ⅳ 102.6以来 ①H26Ⅰ 91.4 ②H25Ⅳ 92.3 ③H25Ⅲ 94.3
前期比の動き	2期ぶり+ (H30Ⅱ以来)	2期ぶり+ (H30Ⅱ以来)	2期ぶり- (H30Ⅱ以来)	2期ぶり- (H30Ⅱ以来)
前期比幅	H29Ⅱ 1.9%以来 (超)H26Ⅰ 2.0%以来 I H25Ⅱ 2.2% II H26Ⅰ 2.0% ⅢH25Ⅲ, H29Ⅱ, H30Ⅳ 1.9%	H30Ⅱ 2.1%以来 I H30Ⅱ 2.1% II H25Ⅱ 2.0% ⅢH30Ⅳ 1.9%	H30Ⅱ -2.6%以来 ①H28Ⅳ -3.0% ②H30Ⅱ -2.6% ③H25Ⅱ -2.5%	H30Ⅱ -2.3%以来 ①H25Ⅱ -4.1% ②H28Ⅳ -3.5% ③H30Ⅱ -2.3%
前年同期比(原指数)	1.2%	1.1%	1.3%	0.9%
前年同期比の動き	2期ぶり+ (H30Ⅱ以来)	2期ぶり+ (H30Ⅱ以来)	5期連続+ (H29Ⅳ～当期)	5期連続+ (H29Ⅳ～当期)
前年同期比幅	H30Ⅱ 1.2%以来 (超)H30Ⅰ 1.8%以来 I H26Ⅰ 7.7% II H29Ⅱ 4.4% ⅢH29Ⅳ 3.1%	H30Ⅱ 1.6%以来 I H26Ⅰ 6.8% II H29Ⅱ 3.8% ⅢH29Ⅲ 2.3%	H30Ⅲ 3.5%以来 I H26Ⅳ 5.9% II H27Ⅰ, H30Ⅰ 5.2% ⅢH26Ⅲ 4.8%	H30Ⅲ 4.9%以来 I H26Ⅳ 9.2% II H27Ⅰ 8.9% ⅢH30Ⅰ 6.9%

1) I～Ⅲは27年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成30年10-12月期の生産指数は、輸送機械工業や化学工業（除. 医薬品）などが上昇したため、前期比1.9%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



平成30年(速報)各指数の状況
生産・出荷・在庫・在庫率指数

年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	104.1	103.0	100.1	104.7
前年比	1.0%	0.8%	1.3%	4.1%
指数水準	27年基準最高水準 I H30 104.1 II H29 103.1 III H26 101.2	27年基準最高水準 I H30 103.0 II H29 102.2 III H26 101.4	H26 100.3以来 I H26 100.3 II H30 100.1 III H29 98.8	27年基準最高水準 I H30 104.7 II H28 101.0 III H29 100.6
前年比の動き	2年連続+ (H29～当年)	2年連続+ (H29～当年)	2年連続+ (H29～当年)	2年ぶり+ (H28以来)
前年比幅	H29 3.1%以来 I H29 3.1% II H26 2.0% III H30 1.0%	H29 2.5%以来 I H29 2.5% II H30 0.8% III H26 0.7%	H29 4.1%以来 I H26 5.9% II H29 4.1% III H30 1.3%	27年基準最高水準 I H30 4.1% II H27 2.9% III H26 1.6%

1) I～Ⅲは27年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数前年比 業種別の影響度合い

- 平成30年の生産指数は、汎用・業務用機械工業、生産用機械工業などが上昇したため、前年比1.0%の上昇。

(前年比、%、%ポイント)

